



# 士別ロータリークラブ会報

創立1960・3・24 RI第2500地区

vol.10 No.2484

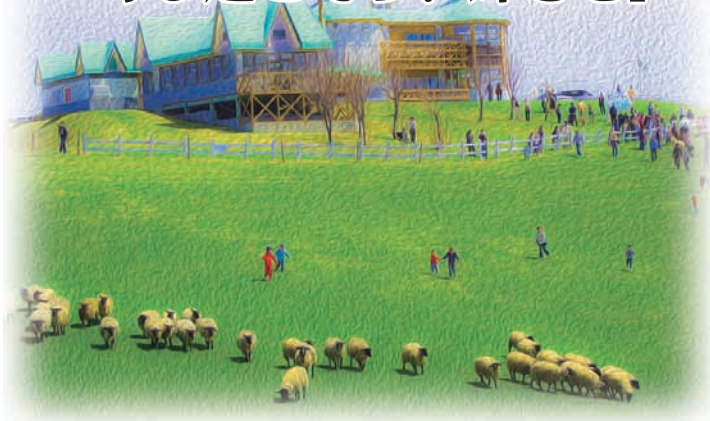
2014～2015年度 国際ロータリーテーマ



2014～2015年度RI会長 ゲイリーC. K. ホアン

2014～2015年度士別ロータリーのスローガン

「呼び起こそう、輝きを」



- 例会場／士別グランドホテル
- 例会日／毎週月曜日 12:10～13:10
- 事務所／士別グランドホテル TEL:(0165)23-1234
- 会長／宮崎隆雄 ■副会長／北村浩史
- 幹事／坂口芳一

## 今日のプログラム 第2565回例会 2014年9月29日(月)…〈夜間例会〉

### ■9月22日の記録■ 普通例会

- 司 会 佐藤元信 会場監督
- 斉 唱 奉仕の理想
- 本日の出席 会員46名中 出席者32名 出席率69.57%
- 本日の欠席 相山佳則、今井 裕、江端健之、大野裕一郎、菊地 仁、北村浩史、近藤峯世、黒田康敬、佐藤和彦、鈴木 勉、奈良康弘、松塚信雄、山口哲雄、渡辺正一

●メイクアップ

●ピジター

●ゲスト 小泉亮太(士別幼稚園)、大野裕継(大野土建株)

●ニコニコBOX 穴田俊昭(北部ガスセンター40周年記念)、本山忠之(ロータリーゴルフ例会優勝)

累計104,000円

### 例会予定

#### ■9月の予定……《新世代のための月間》

- 9月1日(月)／例会・理事会
- 9月8日(月)／例会
- 9月15日(月)／休会(法定休日・敬老の日)
- 9月22日(月)／例会
- 9月29日(月)／夜間例会

#### ■10月の予定……《職業奉仕月間・米山月間》

- 10月6日(月)／例会・理事会
- 10月13日(月)／休会(法定休日・体育の日)
- 10月20日(月)／例会
- 10月27日(月)／夜間例会

■会務報告 ……………宮崎隆雄会長

- 9月13日～15日の3日間に亘り、帯広にて第34回ライラセミナーが開催されました。土別からは、2名の参加登録させて頂きました。後程お二方には体験報告をお聞かせいただく予定で御座います。また同行されました新世代P委員会穴田委員長お疲れ様でした。事故もなく何よりでした。
- 9月19日～10月4日の16日間にわたって、第17回アジア競技大会が韓国仁川(インチョン)にて開催されています。先行して行われたサッカーの試合には始まり、オリンピック競技28競技、独自競技10競技の38競技439種目でメダルを競い合っております。日本の活躍を期待し、応援をしようと思えます。
- 当クラブ元会員 市田孝一様が9月16日ご逝去されました。市田元会員は、平成2年4月に入会し各委員長を務められ、平成12～13年(2000-2001年)には会長を歴任されましたが、本人の事情により平成14年1月退会されました。12年間の在籍中をご存知の現会員は半数程と思われます。月日の流れを感じる思いが致しました。

■幹事報告 ……………坂口芳一幹事

- 旭川RCより創立80周年記念式典の案内が来ております。出席を希望される会員の皆様には幹事まで連絡下さい。日時は10月26日、申込締切は9月30日となっております。
- 社会福祉法人しべつ福祉会様より第23回ふれあい青空祭の終了のお礼状が来ております。
- 9月28日に開催される下川RC創立50周年記念式典の日程案内を出席される皆様のネームプレート入れに入れておきましたのでご確認下さい。

■委員会報告

- **プログラム委員会……………谷 温恵委員長**  
私達の委員会は各委員会との連携を図り1年間のプログラムを行っていく所存ですが、今月は皆様お持ちの活動計画書にあるように新世代のための月間でありますので、これまで急ではありましたが菊地 仁新入会員、江端健之新入会員、また前回は土別青年会議所富田克彦理事長の熱意ある卓話を頂きました。本日は新世代プログラム委員会より卓話としてお話がありますので、宜しく願い致します。尚、10月は職業奉仕月間・米山月間となっておりますので、皆様と理解を深めることが出来ればと願っております。今現在の予定では10月の第3例会であります20日にゲストをお招き致しますので、ご都合の程宜しくお願い致します。

●社会奉仕委員会……………國森和磨委員長

秋の交通安全に伴う「人の波・旗の波」大作戦が、9月24日(水)、14時30分あすなろ公園集合にて執り行われます。ご参加頂ければと思います。震災から3年新たな地域づくりに必要なものと題しまして、みやこ市社会福祉協議会相談員ボランティアコーディネーター小林さつき氏を招き、市民ボランティアスクールが開催されます。日時は9月24日(水)18時30分～20時まで、会場は市民文化センター研修室となっております。あなたの受援力は充分ですか、助ける勇気と助けられる勇気と題しまして、認定NPO法人ボランティアコーディネーター協会事務局長後藤まり子氏を招きまして、住民福祉活動を進める集いが開催されます。10月10日(金)18時30分～20時まで、会場は市民文化センター小ホールにて開催されます。今年5月に土別に講演に来て下さった全盲の熱血教師河合純一さんを題材とした福祉映画が上映されます。日時は10月26日(日)、13時30分～15時30分まで、場所は市民文化センター大ホールにて開催されます。入場料500円が必要となっております。会券が私のほうに5枚ほど届いておりますので、ご希望のメンバーがおられましたら、言って頂ければと思います。

●新世代プログラム委員会……………穴田俊昭委員長

9月13日～15日まで行われました第34回ライラセミナーのご報告を申し上げます。委員長として13日の受付と15日のグループ発表及び閉校式に出席して参りました。参加者は青少年が71名、ロータリアンは48名の参加がありました。今回のテーマは「体感・体験・体話・一体感」と題しまして、1日目はばんえい競馬バックヤードツアーばんえい観戦、2日目は広瀬牧場での搾乳体験とアイスクリーム作りの体験、午後からは手話講習会等充実したスケジュールの中で行われました。最終日の閉校式は、体験の感想を8グループからそれぞれ発表があり、発表の中からはばんえい競馬に於いては第3レースから第6レースまで観戦、特に第6レースはライラセミナーに見合ったレースだったということです。この観戦でほとんどの青少年の方が馬券を買われたようです。中には3連単で万馬券に的中した方がいたと発表されておりました。更に搾乳体験では牛がとっても綺麗だった、搾乳したものが温かく日頃何気なく食しているがすごく感謝したい気持ちになったと感激された方もいたようです。また手話講習では講師が耳が不自由

な方で手話の由来、手話の必要性について受講され、今後地元に戻り手話を広めたいというグループリーダーの発表もありました。最後に奥ガバナーの総評があり、8グループのチームワークの良さ、各チームのリーダーの素晴らしさ等お褒めの言葉を頂いております。更には仲間を作る大切さについても話されておりました。終わりに参加者に対して今後体験・体感を生かして地元の歴史を充分知って頂いて貢献出来るように努力される事に期待したいというガバナーの締め言葉がありました。因みに次年度のライラセミナーは、美瑛町で行われるということで話されておりました。

## ライラセミナー参加者報告

### ●大野裕継(大野土建(株))

今回帯広で催されましたライラセミナーの感想ですが、総じて素晴らしいものであったことをご報告申し上げます。青少年



たちが3日間という限られた時間の中で親交を深めていく様子はもどかしさを感じながらも心躍る様子が伺え、私に将来の希望を感じさせるものとなりました。そのような中であつても気になるところがあり、私が経験したことをお話させていただきます。実は私は見学先で置いてけぼりになりました。当然集団から離れていたことで生じた事態ですが、これに関して概要を説明させていただきます。

セミナー初日に「ばんえい十勝」の見学があり、その後現地で夕食会がありました。私はその夕食会を事情により離れ、ホテルへの移動時間10分前に合流しようとしたところ既に団体の姿はなく、帰路に着いたとのことで、やむなくタクシーを利用しホテルに帰りました。ホテルでは私の不在が認識されており、名前による確認が行われました。ここで定義させていただきます事柄が3つあります。

1つ目は事前配布のプログラムで個別具体情報も載せて頂きたい、手元にあったプログラムには18時から20時まで歓迎親睦会(帯広競馬場)飲食スペースと記載されておりました。飲食スペースとあったので屋内での食事会と想像しておりましたが、実際は屋外でのバーベキューで、私は半袖でおりましたのでやむなく屋内で待機するという決断を致しました。これに関しまして私の様に集団から離れるといった行動に出るといふ方はいなかったようですが、私以

外にも同様に勘違いされる方がいたことは後程確認致しました。これはプログラムに「屋外の飲食スペース」又は「バーベキュー」との記載があればトラブルを未然に防げる可能性が高くなっていたのではないかと存じます。

2つ目には最低限の役割の周知ををして頂きたい。今回であれば点呼といったものを誰が何時どのような形で行うかということです。点呼は今回の様な出先であることに加えスケジュール変更が行われたといった時には特に重要になる点ではないのかと思います。今回のセミナーでは8名もしくは9名を1班としたまとまりで監督されることになっております。見ず知らずの人達が班として集められ、30分のうちに班長が決まり、その次には見学会ということで出発することになりました。

各々どの様な人間かもわからない状態、接し方もおぼつかない状態、全員が互いの顔も覚えていない様な状態で、班長が班長の役割を全うするには、難しいのではないかと思います。その様な環境の中でホテルに帰ってから私の不在が確認されたということは、私の班長が責任感があり、優秀な方であったと思う次第であります。

3つ目はこのような事態に限らず万が一の事態の為に緊急連絡先のご用意及び周知も必要ではないかと思います。以上私が集団からはぐれるという話話をさせて頂きましたが、最後に今回のセミナーに関しまして全体を通して素晴らしいものでありましたと改めて申し上げます。

### ●小泉良太(士別幼稚園)

3日間のライラセミナーに参加しての報告をさせていただきます。

私は、今回始めてロータリー青少年指導養成プロジェクトに参加し、地元士別では学ぶことができない体験をさせていただきました。「体感・体験・体話・一体感」のテーマを基に、漫画コミックや映画でも話題となった「銀の匙」の映画ロケが行われた帯広の各所を回ってきました。

まずは、帯広競馬場。有名なばんえい競馬を間近で見た迫力は何ともいえない興奮があり、華やかな表側とは別に、赤字続きだったところから現在に至るまでの経営努力などを知りました。また、バックヤードを見せて頂き、ばんば馬の大きさは迫力があり、飼育管理している方々の様子も見ることができ



ました。驚いたのは、騎手とばんば馬が共同生活をしているということ。厩舎の中は馬小屋と宿舎が一体となっていて、生活共同体とっていました。さらに驚いたのは、ばんえい競馬の馬たちは、帯広市の職員であるということ。その為、各地の催しに参加し、ばんえい競馬の広報役として働いているということでした。

二日目は、酪農についての学びでした。実際に銀の匙のロケで使われた広瀬牧場さんに向かい、酪農体験をしました。私たちが普段何気なく口にして牛乳。出荷されるまでには、牛の交配から始まり搾乳できるまでの飼育の大変さなどをパネルボードを基に講話されました。その後、私はまずアイスクリーム作りをしました。作ったアイスのレシピというのが、指導して頂いた広瀬さんのお父さんが昔おやつとして作っていたもので、レシピの内容が誰でも簡単に作れるということから、酪農体験の一つとして取り入れたとのことでした。実際に作ってみると、とても簡単で、いくつかのグループで行ったのですが、同じ材料、同じ分量、同じタイミングということで進めていたのですが、混ぜ具合や空気の入りで各グループそれぞれ若干の味の違いが生まれるという不思議さや、実際の味の違いに驚きました。

次に体験したのが、牛舎エリアの見学でした。生まれたばかりの子牛を間近で見ることができ、そこで教えて頂いたのが、子牛と親牛の下の感触の違いでした。子牛は母牛の乳を飲む為、舌が滑らかな感触に対し、親牛は牧草や草を下で巻き取って食べる為、ざらついた感触になっていました。実際に牛の口の中に手を入れてみましたが、確かに双方の違いを体験しました。話によると、親牛の舌に舐められただけで、すり傷になることもあるとのこと。広瀬牧場さんの横にはジェラートショップも隣接しており、新鮮な牛乳を使い、様々な種類のジェラートも提供し、沢山の観光客も見えていました。

午後からは、手話の講習会でした。ご自身もうろあ者である、北海道ろうあ連盟、副理事長 佐藤英治さんを講師に迎え始めました。まず始めに驚いたのが、佐藤さんが話している内容が私達自身に聞き取りやすい言葉であったということでした。4歳で失聴されてから音がない生活をされていたとのことでしたが、手話を交え、分かりづらい所は通訳の方が訳されていましたが、ほとんど佐藤さんの講話のみで進んでいきました。手話というものが言語として確立したのはごく最近のことで、一般的にそれを必要とする人しか使用しないものとなっているの

が現状で、多くの人たちに手話の大切さや重要性を知ってほしいということでした。問題となっていることは、近年、災害が多く、被災地にもろうあ者が多数いたのですが、災害が発生し避難勧告や状況報告をする上で、音声情報しかない場所にいた人たちには通達が遅れている、又は、災害被害に遭ってしまった事実があるということです。その為、情報伝達の手段ということは今一度考えていかなければいけないということでした。最後に、五十音や数字を手話で表したり簡単な手話の内容を教えて頂くなどし、体験しました。実際に体験した中では、ジェスチャーとの違いや、逆に類似しているところにも気付き親近感を得ました。

今回、このセミナーに参加して、一部ではあると思いますが、帯広という土地の風土や情報を知り、北海道の産業の一つを学びました。セミナー後に実際に私が住んでいる士別市をテーマ都市として考えてみましたが、士別市は沢山の企業や市民が一つとなって盛り上げている街ですが、もし他の市町村に対してアピールするとなれば何を主として行くのか。さらに何を盛り上げていくのがいいのか考えてみました。私は、士別市は大好きな為就職も地元と考え、縁あって谷園長の下で勤めています。これから先の士別市の未来を担う子ども達との関わりの中で、日々幼児教育の大切さについて私自身学んでいる身ではありますが、子ども達が生まれ育った士別をより好きになってくれるよう、また、学業等で離れていった人たちが戻ってきたくなるような街であって欲しいと改めて思いました。微力ではありますが、士別を盛り上げていく大人の一人として士別の良さを伝えて行きたいと思えます。もし機会があれば、またこのようなセミナーに参加させて頂きたく思いました。貴重な体験・経験をさせて頂きありがとうございました。また、今回セミナー参加にあたってお世話になりました穴田さん、ロータリアンの皆さん、本当にありがとうございました。

### ◆第5回士別RCゴルフ同好会成績表◆

平成26年9月13日 / 会場：士別同友会CC

順位	名前	OUT	IN	TOTAL	HDCP	NET
優勝	本山 忠之	40	46	86	9.0	77.0
準優勝	佐藤 和彦	43	46	89	11.0	78.0
1位	佐藤 元信	46	49	95	14.0	81.0
2位	志村 孝幸	53	51	104	22.0	82.0
B B	神田 英一	46	54	100	15.0	85.0
B M	片庭 隆暁	55	53	108	18.0	90.0